

青梅市移住・定住促進プラン（原案）の意見募集（パブリックコメント）実施結果

1 実施期間

令和3年12月17日（金）～令和4年1月7日（金） 22日間

2 意見募集結果

4名

3 意見要旨および市の考え方

市民意見（意見の主旨）	市の考え方
<p>移住者に対して仕事と生活の面から相談支援する必要があると考えます。そのために、専門職の配置が必要です。市内在住のキャリアコンサルタント資格保持者を相談員として配置し、働き方と余暇活動などを含めて移住希望者を支援できるような体制をとっていただければと思います。</p> <p>他市の事例ですが、相談窓口キャリアコンサルタントを移住コーディネータとして配置しワークライフバランスを考えた移住の提案などを行っています。</p>	<p>移住は、その人にとって、住まいの場所が変わるだけではなく、生活や仕事を始めとして様々な変化が生じるものと捉えています。その変化の中で生じる不安や疑問に答えていくことは、移住者に本市の魅力を理解していただき、本市が移住先として安心して選択されるためにも重要だと考えています。そこで、30頁に記載のように、相談業務を強化するだけではなく、新規事業である「市民みんながコンシェルジュ！」では、市民の力を生かした市民目線での相談業務も行えるように取り組んでまいります。</p>
<p>交通面に大きな課題があると考えています。東京駅に向かう電車の利便性が、逆に市外転出を促してしまっているように感じます。</p> <p>また、市内のバス交通の利便性の向上が必要だと考えています。</p>	<p>本市の基幹交通であるJR青梅線の利便性向上は、住みやすさの向上に資するものと考えます。</p> <p>バス交通については、公共負担を行い路線の確保維持に努めております。</p> <p>なお、市外転出については、33頁に記載の「特急料金補助」等の取組を始めとして、本市の都心部へのアクセスの良さを強みとして機能させ、転出抑制につながるよう取り組んでまいります。</p>
<p>青梅線の宮ノ平駅、二俣尾駅、御岳駅では階段を上らなければならない、高齢者等にとっては不便な駅です。また、車を寄せるにも駐車することが困難な点も不便です。自転車置き場も十分ではありません。</p>	<p>駅施設のバリアフリー化は鉄道事業者の責務であるため、本市では、西多摩地域の市町村で構成する西多摩地域広域行政圏協議会を通じて、駅施設の改善について、JR東日本八王子支社に要望しております。</p>
<p>バスは、今後電気自動車や水素自動車に置き換わるものになると考えています。同時に、自動運転も可能になるのではないかと思います。青梅街道も吉野街道も自動運転バスの路線として有利な条件をそろえているように思います。奥多摩方面からのバス路線を広げ、青梅線との接続を増やすことで、青梅線が災害等で運転を見合わせた場合でも奥多摩方面から都心に向かう際に、青梅街道を歩かなくても良くなると思います。</p>	<p>自動運転等の新技術について、その動向を注視するとともに、公共交通への活用を検討してまいります。</p>
<p>小曾木経由で今寺や今井方面から河辺駅に向かうバスといった路線の体系には出来ないのでしょうか。</p>	<p>既存のバス路線は、交通事業者が収支を見込んで編成し、国の認可を受けて運行してきた経緯があることから、早期の再編は難しいものと考えますが、持続可能なバス路線の維持確保のため、公共負担の在り方や既存バス路線網の再編を検討してまいります。</p>

市民意見（意見の主旨）	市の考え方
<p>飯能駅と青梅駅のバスの接続が悪く、飯能駅からのルートが閉ざされているように感じます。</p>	<p>公共交通の利便性向上について、市内の交通事業者が構成員となっている青梅市公共交通協議会において協議しております。</p>
<p>市内のバスが、東京都に依存しすぎているように感じます。</p>	<p>東京都交通局が運行する市内バス路線は、梅01系統を除く全ての路線が本市の公共負担により運行されており、他に運行できる交通事業者を確保することが難しい状況です。</p>
<p>プランの取組内容だと、私の場合は、受けられる補助が少ないです。勤務地が都心ではなく、既婚者である移住者の場合は、受けられる補助が少ないので、他自治体で取り入れているような移住したことに対する直接的な支援制度が必要だと考えます。</p>	<p>移住には、費用面でも大きな負担があるので、踏み切れないでいる方がいると捉えています。そこで、32頁や33頁に記載の「結婚新生活支援」や「特急料金補助」のような支援制度を推進いたしますが、さらに広く移住者を獲得していけるよう、他自治体を参考に「移住支援金制度」の導入も検討してまいります。</p>
<p>表紙の写真をPR効果のために高層マンションにしたほうが良いと考えます。</p>	<p>表紙の写真は20頁に記載の3つの地域を表現したものです。本市の魅力を発信していくことは特に重要と考えていますので、29頁に記載の「シティプロモーション」に取り組んでまいります。</p>
<p>文章を簡略化し、箇条書きにしたほうが良いと考えます。</p>	<p>全体を通して、図やグラフ、イラストなどを用い、分かりやすい表現に努めております。</p>
<p>2頁の人口推移についてグラフ化を望みます。</p>	<p>3頁におきまして、これまでの人口推移および将来の人口推計を掲載しております。</p>
<p>グラフの説明を短くし、分析をまとめ、分析から施策につながる内容にまとめるのが良いと考えます。</p>	<p>17頁におきまして現状から分析した課題を、18頁におきまして課題に対応するための施策の基本的方針を、28頁から33頁までにおきまして施策の基本的方針を具体化した各取組を、それぞれ掲載しております。</p>
<p>20頁が見づらいので、分割して欲しい。</p>	<p>全体の頁数や他の頁とのバランスも考慮し、3つの地域に関する記載をまとめて掲載しています。</p>
<p>キャッチコピーについては、各施策作成をしながら検討したほうが良いと考えます。</p>	<p>18頁記載のキャッチコピーや基本方針にもとづき、各施策を充実させてまいります。</p>

市民意見（意見の主旨）	市の考え方
<p>他自治体の取組を参考にしたほうが良いと考えます。マーケティング課の新設、雇用の創出、保育園の増設、手当での支給、キャッチコピー、近隣駅への掲示などについてです。</p>	<p>【マーケティング課について】 移住・定住促進は、住宅課を中心に、全庁的に推進してまいります。</p> <p>【雇用の創出について】 青梅インターチェンジ北側に物流拠点を整備してきました。これにより、地域の雇用創出、産業振興、安定した税源の確保など、整備効果は非常に大きなものとなっています。</p> <p>【保育園の増設について】 近年、認可保育所や認定こども園等の整備を進めた結果、施設の定員が入所希望者数を大きく上回っているため、待機児童は解消しております。このため保育園の増設は考えておりませんが、今後、更に園児および保護者にとって、より良い保育環境の整備に努めてまいります。</p> <p>【手当での支給について】 32頁や33頁に記載のとおり、移住者にとっても定住者にとっても活用していただける補助制度に取り組んでまいります。より移住者に訴求効果がある移住支援金制度についても検討してまいります。</p> <p>【キャッチコピーについて】 18頁に記載のキャッチコピーは、移住・定住促進の基本方針および将来の展望する本市のあり方を踏まえた表現です。</p> <p>【近隣駅への掲示について】 29頁記載のシティプロモーションにおける本市PR活動の中で、都心ターミナル駅など市外における広報活動にも取り組んでまいります。</p>